

令和7年度 津久井支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
セクハラ・わいせつな行為の禁止	わいせつ・セクハラ行為の問題について、理解を深め、未然の防止に努める。	神奈川県立公立学校教職員の倫理に関する指針に基づき、職員研修及び学習環境の整備をとおして、人権に配慮した行動や、誤解を招かない行動についての意識向上に年間を通して取り組んだ。
体罰・不適切な指導の防止	児童・生徒の人権を尊重し、不適切な指導の未然防止に努める。	個別教育計画をもとに、児童・生徒の特性に応じた支援の手立てを共有し、チームで指導にあたることで、体罰、不適切な指導の防止に努めた。管理職による校内巡視や職員との面談等において、子どもの人権尊重や指導に対する振り返りを行い、改善につなげた。
個人情報の適切な取扱い・情報セキュリティ	個人情報の安全な運用・管理とセキュリティ対策に努める。	目的を明らかにした情報の収集、対策重要度分類に応じた保管について周知徹底を図った。情報の持ち出し、廃棄、外部への配付、電子メールの送信にあたっては、手続を経て複数で確認することで、個人情報の流出事故の未然防止につなげた。
適切な私費会計の取扱い	公費・私費会計の適正な管理・執行を行う。	会計担当を中心に、私費会計マニュアルの内容について全職員に周知した。計画的な予算執行と、正確な会計事務をとおして収支の確認を行い、不正執行の防止に努めた。
飲酒運転の根絶	交通法規を遵守し、交通事故の防止に努め、公務外の運転にも意識を高める。	長期休業中や年末年始等の飲食機会が増える時期に研修を実施し、飲酒運転根絶に対する意識向上を図った。また、季節や地域柄を考慮し、自家用車等による交通事故防止について呼びかけ、事故防止に努めた。
入学者選抜の事故防止	個別教育計画・進路関係・入学者選抜等に関する書類を適正に作成・保管・廃棄する。	実施要項に基づき、役割分担や業務内容を十分に確認し業務に従事するようにした。検査問題や書類の取扱いについては、担当者が複数人で複数回確認し、書類の作成、保管・廃棄に誤りがないように努めた。
コンプライアンス意識の醸成	公務員として、時間を問わず規律を守った行動をする。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、毎月点検と確認を行うことで、校内外において教育公務員として常に自覚と責任をもった行動を促した。臨時的任用職員対象の研修において、法令遵守、サービス及び規律の徹底を図った。
風通しの良い職場づくり	職員同士が同僚性を高め、円滑なコミュニケーションを図る。	夏季休業中に実施した職員ミーティングにおいて、学部の垣根や職種を超えた職員同士が意見を言う場を設けたことで、お互いをより理解する機会となった。衛生委員会において、産業医の助言をもとに職場環境の改善に努め、職員のストレス軽減を図った。

○令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題

「児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」「体罰・不適切な指導の防止」の取組を継続するとともに、職員一人ひとりが、教育公務員としての自覚を持ち責任ある行動をとることができるよう、学校全体として、不祥事を「自分ごと」としてとらえる意識づけを継続する取組とした。不祥事ゼロプログラムによる毎月の研修と不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した毎月の点検に、多くの職員が前向きに取り組んだ。また、日々、業務の進捗をチームで共有、確認することにより、個人の視点からチームに視点を広げ、組織的な業務遂行を行うことで、不祥事防止ゼロプログラムの年度当初の目標を概ね達成した。

令和8年度は、児童・生徒が安心して学ぶことができるよう、「児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止」「体罰・不適切な指導の防止」の取組を緩めることなく、ていねいに取り組む。職員の入替わりがあることから、「職場のハラスメント防止」「風通しのよい職場づくり」をとおして、より良い組織づくり、業務改善に努め、職員の働き方改革と不祥事防止を進めていく。